

鳥獣被害対策アドベンチャー フィールドワーク開催報告

フィールドワーク開催7エリアのうち、
東北 関東 東海
北陸 近畿 中国四国 九州

日時 令和7年2月8日～9日(2日間)

場所 埼玉県横瀬町

受入先 株式会社カリラボ
<https://karilab.co.jp/>



受入先(株式会社カリラボ)QRコード

参加者の声

- ・ イノシシ解体にて勘所を丁寧に説明いただき、イノシシの身体の構造や解体方法の知識が深められました。また必要な道具や菌の付着しないこと重要性なども詳しく伺うことができ、解体だけでなく食品を厳しく管理取扱いする重要性とも学ぶことができました。有難うございます。
- ・ 普段知る事ができない狩猟を詳しく知ることができました。特に罠の設置、設置の為の動物の行動、獲物のさばき方、猟銃の取り扱いなど、狩猟知識がない人でも学びやすいと思いました。害獣対策、狩猟、収穫後の処理や加工販売など、運営には地域や多くの人の協力無しにはできないと感じました。



フィールドワークスケジュール

DAY1 2/8(土)

座学研修

11:00～12:00

横瀬町の鳥獣被害の状況及び対策の取組に関する説明を頂きました。



猟具の実演

13:20～14:30

エアソフトガン及びくくり罠、箱罠等の動作原理・操作方法に関する説明及び受け入れ先関係者による実演の時間となりました。



猟具の操作体験

14:30～15:00

受け入れ先による実演を基に、実演に使われた猟具を参加者が自由に操作する体験型の時間となりました。



解体施設見学

15:30～16:30

解体施設の敷地内を見回りながら、施設全般についての説明を頂きました。



DAY2 2/9(日)

解体体験 10:00～12:00

受入先指導の下、参加者同士でイノシシ肉を解体する時間となりました。終了後は、部位ごとに切り分ける作業も併せて行いました。



射撃場見学 14:30～16:00

現役ハンターの方々をお招きし、実物の猟銃を交えながら、狩猟時における射撃の際の注意点に関する説明を頂きました。終了後はハンターの動的射撃の様子を見学しました。

